

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2023年度 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部  
一般選抜Ⅱ期  
個別学力試験問題

国語

(国語総合)

注意事項

- 1 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気付いた場合は、監督者に知らせてください。

志願番号		氏名	
------	--	----	--

解答は、すべて解答用紙に記入すること。

問題Ⅰ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

はたらけど

はたらけど猶わが生活楽にならざり

ちつと手を見る

『一握の砂』一九一〇年

歌人の石川啄木がつくった短歌です。啄木流の三行分ち書きで記されていますが、啄木が見ている「手」は、どのような手であったでしょうか。この「手」を想像し、私の手や両親の手と比べることが、「歴史的思考力」ということです。「歴史的思考力」を①培い、それを養うことが歴史を学ぶ営みであり、同時にその入り口となります。

啄木は、一八八二年、岩手県で生まれ、北海道で新聞記者生活をしたあと、東京で生活していました。一九一〇年といえば、日露戦争のあとで、さまざまな社会問題が噴出していました。核をなすのは貧困で、妻と母をかかえ、啄木は生活苦を、「手」に託しながら歌ったのです。

同時に、石川啄木が見つめた「手」が伝えるのは、二〇世紀初頭（一九一〇年）、最大の社会問題であった貧困をみなが共有しており、その感覚のもとで啄木の表現に心を寄せたということでしょう。啄木が、母親とともに生活し、三世代の貧困のなかで結核で死亡したことが、その②キョウカンを呼びます。

歴史的な知識を参照しながら、啄木の歌を詠み、その歴史状況を確認し、啄木の手といまの私の手とを比べるという営みが、(A)歴史を考えるとという営みです。歴史の知識と歴史的思考力を結びつけ、「いま」と過去とを③往還すること―歴史で考えること―が、歴史を学ぶという営みになります。

もう少し、(B)「手」にこだわりのながら、歴史を学ぶということについて考えてみましょう。いまひとつの「手」の写真があります。南良和という写真家が撮った、埼玉県の農家の女性の手で、「二一歳の嫁の手」と題されています（『ある山村・農民』新泉社 一九七二年）。あかぎれだらけで、農作業の深刻さを体現した手です。同じ南良和の写真集『秩父三十年』に寄せた文章（執筆 井出孫六）によって、埼玉県秩父郡小鹿野町三田川で、一九六三年五月に撮影された写真であることがわかります。高度経済成長の時代に入っても、農村の労働は厳しかったのですが、(C)南はその衝撃を写真として表現したといえるでしょう。

啄木の死後、半世紀たっても貧困はなくなり、高度経済成長のさなかでも農村の「手」は「農民哀史」を示していました。また、その高度経済成長のゆえに、被害をこうむった「手」だったということ。

撮影から一〇年、写真集からは数年ののち、近現代日本史家・仲村政則は、『労働者と農民』（小学館 一九七六年）という近代日本の労働者（女工、炭鉱夫）や農民（小作人）を描いた本の④カントウグラフィアに、この写真を掲げました。「深く刻まれた無数の溝が、労働と暮らしの全背景を語る。この罅割れた手が「国」をささえてきたのである。」とキャプション⑤に記されています。

一九六三年に撮影された写真に、中村もまた衝撃を受け、「歴史的思考力」によって、近代以来の農民の手を「日本近代をささえた」人々の手として⑤把握したのです。中村は、この写真を導入とし、本文で農民や小作人たちの生活や労働など、それに伴う歴史的な知識を提供し、近代日本の歴史を働く人びとの歴史を、一九七六年の読者に訴えかけ、この写真は、さらにライブラリー版（一九九八年）の表紙ともされます。

厳密に言えば、動きはいくらから入り組んでいます。じつさいの「嫁の手」↓南良和による写真↓中村の『労働者と農民』執筆とグラフィアへの掲載↓読者への手渡しという流れとなり、この営みによって、近代日本の農民たちの営みが理解され、記憶され、歴史のなかに意味づけられていきます。

(D) 「二歳の「手」というリアルなものが、「歴史的思考力」によって、歴史的知識と組み合わせられ、読者が参加することによって歴史となっていくのです。この過程が「歴史を学ぶということ」になります。

（成田龍）『歴史像を伝える―『歴史叙述』と『歴史実践』』岩波新書 二〇二二年、一部改変

（注）キャプション 写真や挿絵などにつける説明文。

【一】傍線部①〜⑤の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。（二点×五＝十点）

【二】二重傍線部（A）歴史を考えるとという営みですの内容を説明する文章として最も不適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。（三点）

ア 啄木が見ている「手」を想像し、私の手や両親の手と比べること。

イ 歴史の知識と歴史的思考力を結びつけ、（いま）と過去とを往還すること。

ウ 啄木が、三世代の貧困のなかで結核で死亡したこと。

エ 歴史的な知識を参照しながら、啄木の歌を詠み、その歴史状況を確認し、啄木の手といまの私の手とを比べること。

【三】二重傍線部 (B) 「手」にこだわりながら、歴史を学ぶということについて考えてみましょうとあるが、啄木の短歌や「二一歳の嫁の手」の写眞はそれぞれ、近代日本のどのような特徴を伝えているのか。本文中の言葉を使って答えなさい。(八点)

【四】二重傍線部 (C) 南はその衝撃を写眞として表現したとあるが、この「その衝撃」とはどのようなものか。本文中の言葉を使って答えなさい。(八点)

【五】二重傍線部 (D) 二一歳の「手」というリアルなものが「歴史を学ぶということ」に果たした役割について、本文中の言葉を使って説明しなさい。(八点)

問題Ⅱ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

ところでなぜ、新型コロナウイルスやエボラ出血熱の流行は我々にとっての脅威なのだろうか？ それは、万が一、感染すれば、我々の健康が著しく損なわれ、最悪、死に至るからである。このように、広く我々の健康を損なうものを「病」と呼ぶ。病の代表格は、ウイルスや細菌などの感染によつて引き起こされる感染症であるが、人間の健康を脅かすのは感染症だけではない。糖尿病や高血圧、心の病などの非感染症疾患も、我々の健康への大きな脅威である。実際、世界保健機構 (WHO) 憲章では、「健康」を単に病気にかからない状態ではなく、「身体的、精神的、社会的に完全に健康な状態」と定義してある。そして、達成可能な最高水準の健康を①享受することが、すべての人間の基本的な権利の一つであると謳っている。

(A) しかし実際には、健康を確保することは容易ではない。もちろん、普通の風邪のように適切な処置を受ければ、すぐに快復する病もある。しかし、新型コロナウイルスのように、感染源も②カイメイされておらず、有効なワクチンが実用化されていない病もある。

また、特に感染症に関しては、国境を簡単に越えてしまうという特徴がある。今日の国際社会は、日本、中国、アメリカというふうに、国家という単位で分断されており、国家と国家の間には国境がある。しかし、病には国境はない。いったん、どこかの国で感染症が発生すれば、人やモノの移動に伴って容易に国境を越える。

我々人類は病にどう対処していけばよいのだろうか？ 様々な失敗や試行<sup>③</sup>「サクゴ」の結果、<sup>(B)</sup>現在は病という人類全体の脅威に対して、国境を越える協力体制が築かれている。病に対する国際協力体制、これが国際保健と呼ばれるものである。より厳密に言えば、このような枠組みは近年、国際保健ではなく、「グローバル・ヘルス」と呼ばれるようになってきている。「国際」とは国家間の枠組みを指し、対する「グローバル」とは、国家以外の企業や財団、非政府組織などを含む枠組みのことを指す。そのようなアクター<sup>(E)</sup>の台頭を踏まえ、特に冷戦後の国際保健協力の枠組みは「グローバル・ヘルス」と呼ばれている。

保健協力の歴史はそれほど長くない。複数の共同体が感染症対策のために協力を始めたのは、黒死病（ペスト）の流行に直面した一四世紀のヨーロッパであった。一九世紀になると、ヨーロッパの国々の間で、チフスやコレラへの共同対策を話し合うための国際衛生会議が定期的に開催されるようになった。一九〇三年には史上初の国際衛生協定（International Sanitary Convention）が締結され、一九〇七年には史上初の政府間保健機関も設立された。

しかし、これらはいくまでヨーロッパ内部の枠組みであり、世界中の人々を病から守ろうという取り組みではなかった。そして、第一次世界大戦の後、ロシアから東欧にかけて、チフスやコレラが蔓延<sup>まんえん</sup>した際、こうしたヨーロッパ内部の枠組みはその<sup>④</sup>「ケンカイ」を露呈した。第一次世界大戦前のアジアでも、コレラやチフスが蔓延しており、日本政府は独自の政策を展開したが、あまり有効ではなかった。感染症は簡単に国境を越えてしまう。一國の単独の取り組み、あるいは地域内に閉じられた協力体制では、感染症に打ち克<sup>か</sup>つことはできない。各国は次第に、国際協力の必要性を認識するに至ったのである。

こうして第一次世界大戦の後、国際連盟の下に世界規模の国際保健協力体制が築かれた。その活動は第二次世界大戦の後、WHOに引き継がれ、現在に至っている。さらに科学技術のおかげで新しい薬やワクチン、治療法が次々と生み出されている。<sup>(C)</sup>それにもかかわらず、なぜ、感染症や非感染症疾患は我々の脅威であり続けているのか？ 特效薬が登場しても、アクセスが容易ではないのはなぜか？ そこに人類と病との闘いを読み解く意義がある。

それは、関与する様々なアクターの利害関係が人類と病との闘いに影響を与えているからである。たとえば、アメリカをはじめとする大国がエイズやマラリアなど特定の課題に注力していることにより、数多く存在するその他の保健課題——たとえば「<sup>⑤</sup>「顧みられない熱帯病」など——が後回しにされるといふ問題が起きている。多くの国が豊かになった結果、先進国ではコレラやチフスが脅威ではなくなった一方で、糖尿病や肥満が大きな課題となっている。エイズは治療法が確立されてきたが、治療費が高いため、発展途上国では今なお治療へのアクセスが課題であり続けている。

(注) アクター (actor) は一般的に「俳優・役者」という語意だが、ここでは「活動における主体、当事者、参加者」という意味で使用している。

【一】 傍線部①～⑤の漢字はひらがなに、カタカナは漢字に直して書きなさい。(二点×五＝十点)

【二】 二重傍線部 (A) しかし実際には、健康を確保することは容易ではないとあるが、筆者がこのように述べる根拠として、本文中で言及されていることは何か。次の選択肢から合致するものを一つ選び、記号で答えなさい。 (二点)

ア 糖尿病や高血圧の人が増えた結果、病気になる人の数が増えたから。

イ 現代社会では過重労働の結果、心の病を抱える人が増えたから。

ウ 病は人やモノの移動によつて国境を越えて広がるため、国際協力しながら取り組む必要があるから。

エ 「健康」に対する見方が多様な社会であるために、「健康」とは何かについて定義することが不可能だから。

【三】 二重傍線部 (B) 現在は病という人類全体の脅威に対して、国境を越える協力体制が築かれているについて、具体的にどのような協力体制が築かれているのか、本文中の語句を用いて説明しなさい。(八点)

【四】 二重傍線部 (C) それにもかかわらず、なぜ、感染症や非感染症疾患は我々の脅威であり続けているのか?」について、次の二つの問いに答えなさい。(八点×二＝十六点)

① 感染症や非感染症疾患が脅威であり続けている理由は何か、本文中の語句を用いて答えなさい。

② 本文中で示された具体的な例を一つ挙げなさい。

【五】 次の選択肢のうちから、本文の主張と合致する内容を全て選び、記号で答えなさい。(六点)

カ 筆者は「病」という概念を、新型コロナウイルス感染症やエボラ出血熱のような感染症に限定して使用すべきだとしている。

キ 二〇世紀初頭に構築された国際保健協力体制に日本も加わっており、チフスやコレラを封じ込めることに有効だった。

ク 人類と病との闘いが終わらないことの根本的な原因は、舞台俳優たちが世界中で公演することが挙げられる。

ケ 「病」は容易に国境を越えるため、国際的な保健協力の体制によって封じ込める必要があり、単一国家で対処するのは無理がある。

コ 人類が「病」と闘うことに対して様々な利害関係が生じており、健康を確保することは容易ではない。

【六】 本文の主張を踏まえたうえで、誰かと一緒に物事に取り組む際、考えや立場の違いがある場合に気をつけるべきことは何かについて、具体例を挙げながら、あなたの考えを二〇〇字以内で書きなさい。(二十点)






20点

氏名	国語	三〇二三年 度一般選抜試験Ⅱ期 郡山女子大学・ 個別学力試験 短期大学部
志願番号		

氏名		国語	
志願番号		得点	

二〇一三年度 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部  
 一般選抜試験Ⅱ期 個別学力試験

問題Ⅰ

〔一〕	①	つちか
	②	共感
〔二〕	ウ	おうかん
	④	巻頭
〔三〕	⑤	はあく
	〔三〕	(例) 啄木は「手」を通して、二十世紀初頭の貧困による生活苦を伝え、「二一歳の嫁の手」は半世紀たった高度経済成長のさなかにも貧困のために農村の労働と暮らしが厳しかったことを伝えた。
〔四〕	(例) まだ若い二一歳の女性の手が、あかぎれだらけで傷ついていて、農作業の深刻さを体現していたことから受けた衝撃。	
〔五〕	(例) この写真の「手」を「日本近代をささえた」人々の手として提示した上で、農民や小作人たちの生活や労働などの歴史的な知識を組み合わせて、読者に訴えることで、近代日本の農民たちの営みが理解され、記憶され、歴史の中に意味づけられたという役割。	

問題Ⅱ

〔一〕	①	きょうじゆ
	②	解明
〔二〕	ウ	錯誤
	④	限界
〔三〕	⑤	かえり
	〔三〕	(例) 冷戦後の国際保健協力の枠組みは、国家だけでなく国家以外の企業や財団、非政府組織などの台頭を踏まえて、「グローバル・ヘルス」と呼ばれるようになった。
〔四〕	①	(例) 国際保健協力体制に關与する様々なアクターの利害關係が人類と病との闘いに影響を与えているから。
	②	(例) アメリカをはじめとする大国がエイズやマラリアなど特定の課題に注力していることにより、数多く存在するその他の保健課題が後回しにされている。
〔五〕	ケ・コ	6点

6点

8点

8点

8点

3点

10点

8点

8点

8点

3点

10点

【六】

- 採点のポイント
- ・ テーマ「本文の主張を踏まえたうえで、誰かと一緒に物事に  
取り組む際、考えや立場の違いがある場合に気を付けるべき  
ことは何か」に合った内容か。
  - ・ 常体と敬体が混在していないか。
  - ・ 話し言葉になつていないか。
  - ・ (ら抜き言葉、違かつた、「なので」始まり等)  
誤字／脱字はないか。
  - ・ 文字数は適切か。(一五〇～二〇〇字)

氏名	国 語	二〇二三年度 郡山女子大学・郡山女子大学短期大学部 一般選抜試験Ⅱ期 個別学力試験
志願番号		

20点